



ダイナミックレンジコントロールを採用した  
日立のステレオ「シンフォニカ 600」

最近ステレオで好評を博している“エキスパンド効果”に加えて“コンプレス効果”も発揮する“ダイナミックレンジコントロール”を採用した日立のステレオ「シンフォニカ 600」がこのほど発売になった。

新発売の“シンフォニカ 600”はほかにFM装置内蔵、日立独特のMBプレーヤ、SBビクタアップをはじめ、残響装置やラウドネス、コンベンセーター、ステレオスプレッドなどステレオの機能のすべてをとり入れており、またデザインも大形キャビネットの豪華なものである。

現金正価 62,500円 月賦正価 67,000円 (12回払い)

おもな特長

- (1) 音のダイナミックレンジ(強い音、弱い音の差)を自由自在に変えて楽しめる。  
ダイナミックレンジコントロール(特許出願中)。  
従来好評のエキスパンド装置にさらにコンプレス装置をプラスした“ダイナミックレンジコントロール”を採用しているので、一つをつまみでエキスパンダーからコンプレッサーまで連続可変できるという効果を発揮する。
- (2) FM放送も聞ける。
- (3) モーターの雑音を掃いたMBプレーヤ(特許出願中)。
- (4) インサイドホースによる“ひずみ”をなくしたSBビクタアップ。
- (5) そのほか
  - (a) 音に奥行きをプラスする“残響装置”つき
  - (b) 高音低音を生かす“ラウドネスコンベンセーター”つき
  - (c) 音の左右の広がりをも自由にかえる“ステレオスプレッド”つき
  - (d) 最大7~7Wの大出力による豊かな音量
  - (e) 高感度な大形フェライトアンテナ
  - (f) 大形高級木製キャビネットの豪華なデザイン
  - (g) 便利なレコードケースと録音補助端子つき

おもな規格

回路方式.....	FMつき16球5石2チャンネル スーパーヘテロダイソ方式
受信周波数帯.....	FM放送(FM) 76 ~ 90 Mc 短波放送(SW) 3.8 ~ 12 Mc 標準放送(MW) 530 ~ 1,605 kc
中間周波数.....	FMチャンネル 10.7 kc AM { 左チャンネル 477 kc 右チャンネル 455 kc
使用真空管.....	16球5石



第14図 ダイナミックレンジコントロール採用の日立ステレオ“シンフォニカ 600”

感 度.....	極微電界級 FM 20 $\mu$ V/50 mW AM 30 $\mu$ V/50 mW
出 力.....	無ひずみ 5.5~5.5W 最大 7 ~ 7 W
電 源.....	100V 50/60 c/s
消費電力.....	約 120 W
スピーカ.....	日立 20 cm PM形 2個
ビクタアップ.....	ターンオーバー式ステレオクリスタル ビクタアップ(サファイアつき)
使用針.....	S T・L P用 HN-ST <sub>2</sub> S P用 HN-SP <sub>1</sub>
針 圧.....	7 g
モーター.....	2極インダクションモーター (マグネチックレギュレーターつき)
ターンテーブル.....	20 cm ポリウレタンシートつき
外形寸法.....	幅×高さ×奥行 107×82×40cm
重 量.....	43 kg

レーダーチューニング方式採用の8石2バンド  
トランジスターラジオ“ハイフォニック”WH-888

日立製作所では、ポータブル形トランジスターラジオの決定版として現在考えられる、すべての機構と性能を結集した、日立のトランジスターラジオ“ハイフォニック”の第一弾として「WH-888」を発売した。

このセットは、電波を光に変えて適格に選局できるレーダーチューニング方式をはじめ、ラジオとしては完全に近い諸機能を有し、感度その他性能的にも一段と向上した超高感度8石2バンドラジオである。

回路は周波数変換部と中間周波増幅部に、それぞれ高性能日立ドリフト形トランジスターを用い、低周波増幅3段、電力増幅には2SB77、2石によるB級プッシュプル回路を採用している。

内蔵アンテナはキャビネットの横幅いっぱい組み込まれた、大形フェライトアンテナで感度の向上を図っている。出力は最大 280 mWを有し、大形大出力スピーカの採用と相まってホームラジオとしても十分楽しめる音質と音量を誇っている。

現金正価 12,200円 月賦正価 (12回払い) 12,900円

おもな特長

- (1) 電波を光に変えるレーダーチューニング(実用新案申請中)の採用により最高の音質、音量を容易に選べる。
- (2) 日立独自の回路方式の採用により、NBS クリスタルをセルフコンバーター回路に使用することに成功した。(実用新案申請)



第15図 レーダーチューニング方式採用日立トランジスターラジオ“ハイフォニック”WH-888



中)

(3) 高性能日立ドリフト形トランジスターと大形のフェライトアンテナを使用しているため、感度が鋭く、このクラスのラジオとしては最高の安定した受信ができる。

(4) セルフコンバーター回路の採用により低周波3段増幅となり、日立独特の大形だ円スピーカを採用しているため、低音の伸びのよい豊かなシンフォニックトーンを楽しむことができる。

(5) NBS以外の短波運用の際は、クリスタルのつまみをOFFにしてファインチューニングで微細な運用もできる。

(6) デザインは人間工学を生かして、あらゆる操作を一個所に集約した操作パネルを本体前面に強く出し、EEカメラを連想させる斬新なレーダーチューニングレンズ、高級ダイキャストフレームの採用と相まって高級セットにふさわしいメカニカルな感じを持たせている。

(7) 電池の取り替えは裏ぶたをはずす必要がなく、底面にある取出口より容易にできる。

#### おもな規格

形名	....."ハイフォニック" WH-888	
回路方式	.....8石2バンドスーパーヘテロダイイン	
受信周波数帯	.....SW 3.8~12 Mc MW 530~1,605 kc	
トランジスター	.....2S A350(周波数変換) 2S A12(中間周波増幅第一段) 2S A35A(中間周波増幅第二段) 2S B75(低周波増幅第一段) 2S B75(低周波増幅第二段) 2S B77×2(電力増幅〔プッシュプル〕) 2S B77(検波電流増幅ランプ点火用)	
ゲルマニウムダイオード	.....1N34A(発信補償) 1N34A(検波兼自動音量調節) 1N34A(自動音量調節)	
サーミスタ	.....B-2B(温度補償)	
出力	.....280mW(最大) 180mW(無ひずみ)	
電源	.....6V(特単3号 UM-3A 日立乾電池4個)	
スピーカ	.....9×6cm だ円PM形イセホーンジャック	
	.....2個(E L-216日立マグネチックイセホーン使用、1個付属)	
アンテナ	.....フェライトアンテナ内蔵、補助アンテナ線付属	
寸法	.....幅×高さ×奥行 172×98×44 mm	
重量	.....約 600g(日立乾電池とも)	

#### 小形で高感度な7石2バンド 日立“ベティ” WH-758 発売

日立製作所では、日立トランジスターラジオの小形2バンド“ベティ”シリーズの新形「WH-758」を発売した。

このセットは、小形ではあるが従来の8石ラジオなみの性能を持たせるべく設計された高性能7石2バンドラジオである。

回路は、周波数変換部と中間周波数増幅部にそれぞれドリフト形トランジスターを用い、低周波増幅2段、電力増幅には2S B772石によるB級プッシュプル回路を採用している。

内蔵アンテナは、キャビネットの横幅いっぱいに組み込まれた大形フェライトアンテナで感度の向上を図っている。さらに出力は、このクラスでは最高の280mWとし、コーンの奥行を深くした新形スピーカの採用と相まって、ホームラジオとしても十分豊かな音質を楽しむことができる。

現金正価 8,800円、月賦正価(12回払い) 9,400円

#### おもな特長

- (1) 小形で持ち歩きに便利な2バンドポータブル、短波も聞けて、しかも8石なみの性能を持つ7石2バンドとして、もっとも実用性の高い設計になっている。
- (2) 高性能日立ドリフト形トランジスターと、大形のフェライトアンテナを使用しているため、感度が鋭く7石では最高、従来の8石なみの安定した受信ができる。
- (3) セルフコンバーター回路の採用により低周波2段増幅となりコーンの奥行を深くした。日立独特の新形スピーカを採



第16回 7石2バンド日立トランジスターラジオ  
“ベティ” WH-758

用しているため低音の伸びのよい、豊かなシンフォニックトーンを楽しむことができる。

- (4) 8石の高級セットに採用されているファインチューニングがついているため、狭い範囲に密集した短波の微細な運用も、大変簡単に行える。
- (5) デザインは前面を金色のパンチメタルで飾り、特殊処理を施した高級皮ケースの採用と相まって小形ながら豪華な感じを持たせている。
- (6) 特に超遠距離受信に威力を発揮する外部アンテナ付きである。電池は単3号4個を使用、1回2時間聞いて約25日以上もち、このタイプでは従来の20~30%長寿命になる。キャビネットの色には明るい感じの「ベージュ」シックな感じの「ブラック」の2種が用意されている。

#### おもな規格

回路方式	.....7石2バンドスーパーヘテロダイイン方式	
受信周波数帯	.....短波放送(SW) 3.8~12 Mc 標準放送(MW) 530~1,605 kc	
使用石	.....2S A350...周波数変換 2S A12...中間周波数増幅(第1段)	
トランジスター	.....2S A353...中間周波数増幅(第2段) 2S B75...低周波増幅(第1段) 2S B155...低周波増幅(第2段) 2S B77×2...電力増幅(B級プッシュプル方式)	
ゲルマニウムダイオード	.....1N34A×3...検波、自動利得および発信補償	
サーミスタ	.....B-2B...温度補償	
出力	.....最大280mW 無ひずみ180mW	
電源	.....6V 日立単3号乾電池(UM-3A)4個	
スピーカ	.....6cm PM形イセホーンジャック	
	.....1個(E L-216日立マグネチックイセホーン使用、1個付属)	
アンテナ	.....フェライトアンテナ内蔵、ロッドアンテナ付(補助アンテナ線付属)	
寸法	.....幅×高さ×奥行 150×80×40 mm	
重量	.....400g(日立乾電池とも)	

#### 高増幅率3極管2GK5, 6GK5開発

日立製作所茨城工場では高増幅率3極管2GK5, 6GK5を開発した。この2GK5, 6GK5はテレビチューナーの高周波増幅用として設計されたセミリモートカットオフ3極管である。

フレームグリッドを使用しているため15,000μVという高い相互コンダクタンスを持っているため高利得、低雑音のチューナーを作ることができる。しかもセミリモートカットオフになっているため混変調のずみを小さくすることができる。さらにグリッド、陽極間の